



ATH-SR50BT

取扱説明書
ワイヤレスヘッドホン



audio-technica

はじめに

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にクイックスタートガイド、取扱注意ガイドを必ずお読みのうえ、必要に応じてこの取扱説明書を参照して正しくご使用ください。

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

	危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
	警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
	注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

 警告		
● 本製品を医療機器の近くで使用しない 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。 ● 航空機内では航空会社の指示に従い適切に使用する 電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。 ● 自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない 電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。 ● 分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。 ● 強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。 ● 濡れた手で触れない 感電やけがの原因になります。	● 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社サービスセンターに修理を依頼してください。 ● 水をかけない 感電、故障や火災の原因になります。 ● 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電、故障や火災の原因になります。 ● 布などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。 ● 自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない 交通事故の原因となります。 ● 周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など)では使用しない 事故の原因となります。	● 付属の充電用USBケーブル以外で充電しない 故障や火災の原因になります。 ● ACアダプターを使用して充電する際、急速充電機能(5Vより大きな電圧を出力する)を有する機器で充電しない 故障の原因になります。別売の当社製USB対応ACアダプターのご使用を推奨します。

 注意		
● 大音量で耳を刺激しない 耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。	● 肌に異常を感じた場合は、使用しない すぐにご使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。	● ハウジングとアームの間やジョイント部に、指などを挟まない けがや事故の原因になります。

安全上の注意

充電式電池について

本製品は、充電式電池(リチウムポリマー電池)を内蔵しています。

⚠ 危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。
- 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
・ 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
・ 万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
・ 皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- 火の中に入れない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない
発熱、破損、発火の原因になります。
- 落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 水に濡らさない
発熱、破裂、発火の原因になります。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない
 - 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
 - 炎天下の車内
 - ストープなどの熱源の近く液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

内蔵充電式電池の交換のしかた

本製品を十分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。内蔵充電式電池の交換は、お客様で自身で行わず、当社サービスセンターへご相談ください。

サービスセンター ☎ 0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)

本製品を廃棄する場合 リサイクルのお願い



Li-ion

内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を下記宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますので予めご了承ください。

送り先: 〒915-0003

福井県越前市戸谷町 87-1

株式会社オーディオテクニカフクイ 二次電池回収担当 宛

TEL: 0778-25-6736 (電池回収専用)

使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 充電用USBケーブルを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。充電用USBケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用しないときは、必ず本製品から充電用USBケーブルを取り外してください。
- 充電用USBケーブルを接続した状態で、本製品をそのままバッグなどに入れると充電用USBケーブルが引っ掛かり、断線や故障の原因になります。
- 本製品を使用しないときは、付属のポーチに収納してください。
- 本製品の機能にある受話は、携帯電話回線を使用した受話に限り有効です。それ以外（アプリなど利用してパケット通信を介している電話）は、動作保証できません。
- 本製品の近くに電子機器や発信機（携帯電話など）があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 内蔵充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品はノイズリダクション機能のオン/オフ時で音量差があります。
- タッチパネルの操作は手で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作すると、正しく動作しないだけでなく、タッチパネルが傷ついたり、破損の原因となる恐れがあります。
- 爪先でタッチパネルにタッチしないでください。爪が割れたりなどけがの原因となる恐れがあります。
- タッチしたときに動作しなかったり、意図しない動作をする場合は、タッチしたときに他の指や手の一部、服の裾などが触れていないかをご確認ください。また、本製品のアンビエンスコントロールの切り換えのように、タッチパネルの広範囲をタッチする操作の場合は、タッチする範囲を取扱説明書などで確認のうえ改めて操作してください。なお、手袋をしていたり、指先が乾燥していると、正しく動作しないことがあります。
- 汗などでタッチパネルが汚れていると、正しく動作しないことがあります。汚れを取り除いてから操作してください。

ノイズリダクション機能について

本製品に内蔵されたマイクロホンで周囲の環境騒音（乗り物の騒音やエアコンなどの空調音など）を收音し、その逆位相音を出して騒音を打ち消す仕組みになっています。その結果、環境騒音が低減して聞こえます。

- ・ 本製品のノイズリダクション機能は主に300Hz以下の騒音を低減させるため、それ以上の周波数成分の多い騒音（電話の着信音、話し声など）に対しては効果がほとんどありません。
- ・ 全ての騒音が消えるわけではありません。
- ・ 静かな場所や騒音の種類によっては、ノイズリダクション効果が感じられない場合があります。
- ・ ノイズリダクション機能をオンにすると「サー」という音がしますが、これはノイズリダクション機能の動作音であり、故障音ではありません。

Bluetooth®製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

2.4FHI

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。

変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を総務省の許可なしに改造、または証明ラベルをはがして使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器の影響によって音声途切れや電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、下記の点に注意してください。

- 本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器を離して設置する。
- 病院内では使用しない。

Bluetooth 通信をより快適にお楽しみいただくために

本製品の有効な通信範囲は障害物や電波状態によって変動します。

本製品を快適にお楽しみいただくために、本製品とBluetooth機器をなるべく近づけてご使用ください。本製品のアンテナ部(L側)とBluetooth機器の間に人体やその他の障害物がないことで、ノイズや音の途切れを最小限に抑えることができます。

使用上の注意

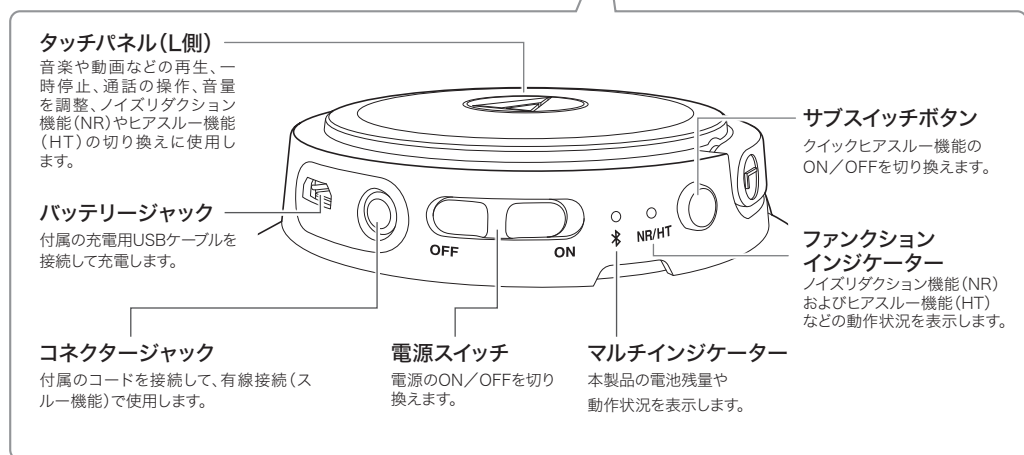
本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。Bluetooth標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

通信距離について

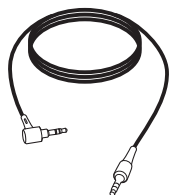
障害物や他の電子機器との電波干渉の影響を受け、通信距離内でも音切れが発生する場合があります。そのような場合は、本製品をBluetooth搭載機器の近くで使用してください。



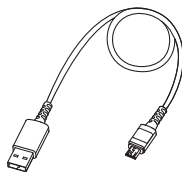
各部の名称と機能



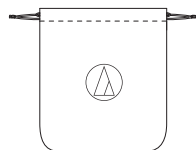
■ 付属品



・コード(1.2m/φ3.5mm
金メッキステレオミニプラグ/L型)



・充電用USBケーブル
(30cm)

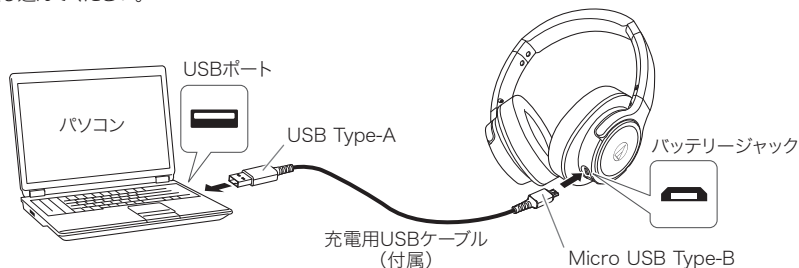


・ポーチ

充電のしかた

- ・初めてご使用になる場合は、充電を行ってください。
- ・充電式電池の残量が少なくなった場合、本製品のヘッドホンから音が鳴り、マルチインジケーターが赤く点滅します。音が鳴った場合は、充電してください。
- ・満充電までに必要な充電時間は約5.5時間です。(使用条件により異なります)
- ・充電中はBluetoothの接続が切れるため、本製品のBluetooth機能を使用することはできません。

1. 付属の充電用USBケーブル(Micro USB Type-B側)を本製品のバッテリージャックに接続します。
 - ・付属の充電用USBケーブルは本製品専用です。他製品は使用しないでください。
 - ・USBポートやバッテリージャックに充電用USBケーブルを差し込む際は、端子が正しい向きであることを確認し、まっすぐ(水平に)差し込んでください。



2. 付属の充電用USBケーブル(USB Type-A側)をパソコンに接続して、充電を開始します。
 - ・USB対応ACアダプター(当社別売)を使用すると、コンセントから充電することができます。
 - ・充電時は、マルチインジケーターが下記のように点灯します(マルチインジケーターの表示に数秒かかる場合があります)。
赤点灯:充電中
消灯 :充電完了
3. 充電完了後、充電用USBケーブル(USB Type-A側)をパソコンから取り外します。
4. 充電用USBケーブル(Micro USB Type-B側)を本製品のバッテリージャックから取り外します。

- ・本製品の電源をONにした状態で充電を行うと、充電中は電源がOFFになります。充電完了後、電源スイッチをOFFにしたあと、再度ONにしてください。
- ・充電時は必ず付属の充電用USBケーブルをご使用ください。付属の充電用USBケーブル以外では充電できない場合があります。

Bluetooth接続のしかた

本製品とBluetooth機器を接続する場合は、本製品とペアリング(登録)する必要があります。

ペアリングのしかた

- Bluetooth機器の取扱説明書も併せてお読みください。
 - Bluetooth機器を本製品から1m以内に置いてペアリングを行ってください。
 - 確認音を聴きながらペアリングを確認する場合は、本製品を装着してください。
1. 本製品の電源が切れている状態から電源スイッチをONにします。
 - マルチインジケータが白に点灯したあと、白の点滅を始めます。
 2. 接続するBluetooth機器でペアリング操作を行い、本製品を検索します。
本製品を検索するとBluetooth機器に「ATH-SR50BT」と表示されます。
 - Bluetooth機器の使いかたは、機器の取扱説明書をお読みください。
 - 本製品が「ATH-SR50BT」、「BLE_ATH-SR50BT」またはその両方で表示される場合があります。両方表示された場合は、「ATH-SR50BT」を選択してください。どちらか一方が表示された場合は、その表示を選択してください。
 3. 「ATH-SR50BT」を選択し、接続する機器に登録します。
 - 機器によっては、パスキーを要求される場合があります。その場合は、「0000」を入力してください。パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードと呼ばれる場合があります。
 - 確認音が鳴るとペアリングが正常に行われ、ペアリングが完了します。
 - 2台目以降のペアリングの際は、本製品が接続履歴のあるBluetooth機器を自動的に探しに行くため、時間がかかる場合があります。その場合は「ペアリング」のマルチインジケータ表示(p.15)になるまでお待ちください。



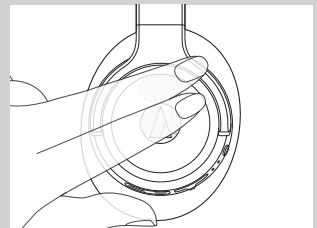
ペアリングについて

新たなBluetooth機器を接続する際はペアリングが必要ですが、一度ペアリングしたBluetooth機器とは、再びペアリングする必要はありません。

ただし、以下の場合は、一度ペアリングしたBluetooth機器であっても再度ペアリングが必要です。

- Bluetooth機器の接続履歴から削除された場合
- 本製品を修理に出した場合
- 9台以上のペアリングをした場合
(本製品は合計8台までペアリング情報を保存できます。8台分をペアリングしたあとに、新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。)

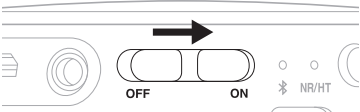
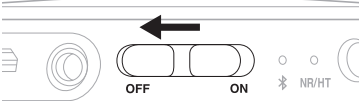
- Bluetooth機器を切り換える際、直前に接続されているBluetooth機器との接続を解除できないなどのためにペアリングができないことがあります。その場合は、図のようにタッチパネルの上・中央部の2箇所をロングタッチ(約10秒)してください。本製品が「機器検索中」状態に切り換わり、接続したいBluetooth機器とのペアリングを行うことができますようになります。



使いかた

本製品は、Bluetooth 接続を行い音楽再生や着信を受けることができます。用途に合わせてご使用ください。
また、Bluetooth 機器による電池残量などの表示やアプリケーションの動作などは保証できませんので、あらかじめご了承ください。

電源 ON / OFF

電源	電源スイッチ操作	マルチインジケーター
ON		白に点灯したあと、白の点滅*1 *2
OFF		白に点灯したあと、消灯*2

*1 マルチインジケーターの表示に数秒かかる場合があります。
*2 詳しくは「マルチインジケーター表示について」(p.15)をご確認ください。

装着のしかた

本製品の“L(左)”の表示側を左耳に、“R(右)”の表示側を右耳に装着し、イヤパッドが耳全体を覆うようにスライダーを上下にスライドさせ、ヘッドバンドを調整します。

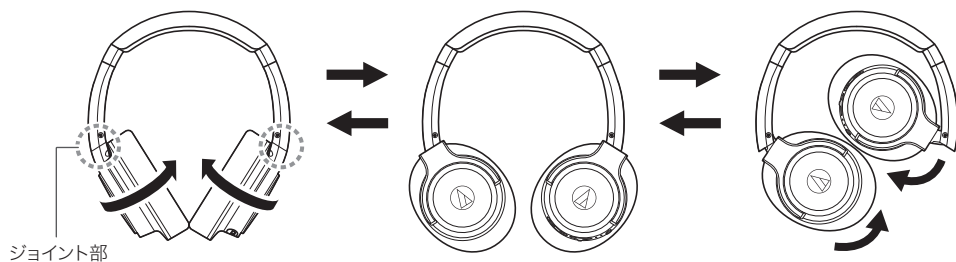


使いかた

スワイベル機構

ハウジングをフラットに折りたためます。また、フラットに折りたたんだあと、ハウジングをヘッドバンドの内側へ折りたたむこともできます。

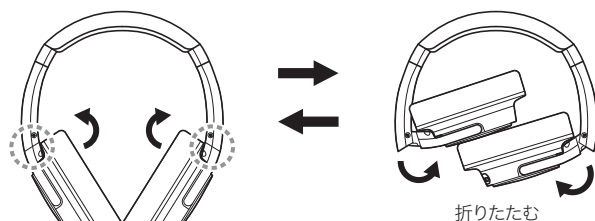
- ・ スワイベル機構は90度以上回転できません。無理な力を加えないでください。



コンパクトに折りたたみ

ジョイント部を支点にハウジングをヘッドバンドの内側へ折りたたむことができます。

- ・ 本製品を折りたたむ際、付属のコードは取り外してください。
- ・ ジョイント部に指などを挟まないようにご注意ください。
- ・ 本製品をご使用の際は、必ずハウジングを元の位置に戻してご使用ください。

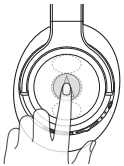
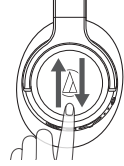


使いかた

音楽を聴く

- 初めて接続をする場合は、本製品と接続する機器を Bluetooth でペアリングを行ってください。一度ペアリングを行った場合は、Bluetooth 機器の Bluetooth 接続を ON にしてから、本製品の電源を ON にしてください。
- 接続した Bluetooth 機器の取扱説明書に従って、音楽を再生してください。
- L (左) 側ハウジングがタッチパネルになっており、タッチ位置は上部・中央部・下部と3箇所あります。

タッチパネル (L 側ハウジング)

操作		動作
	タッチ	音楽の再生、一時停止をします。 ^{*1}
	ロングタッチ (約2秒)	接続機器によっては、音声認識機能 (iOS 機器に搭載している Siri など) が起動します。
	タッチ	音量が ¹ 段階大きくなります。 ^{*2}
		音量が ¹ 段階小さくなります。 ^{*2}
	上へスワイプする	次の曲に送ります。 ^{*1}
	下へスワイプする	前の曲に戻ります。 ^{*1}

^{*1} 一部のスマートフォンでは、音楽の再生、一時停止、曲の送り／戻しなどの操作ができない場合があります。

^{*2} タッチパネルをタッチするたびに確認音が鳴ります。音量が最大になると高い音、最小になると低い音が鳴ります。

- 接続機器によっては、本製品と接続機器の音量調整がうまく連動しない場合があります。

使いかた

アンビエンスコントロールを切り換える

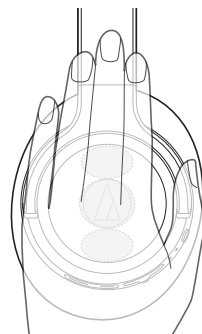
ノイズリダクション機能(以降ノイズリダクション)、ヒアスルー機能(以降ヒアスルー)といった外音の低減や取り込みなどを行うアンビエンスコントロールを搭載しています。本製品の電源がONのときにタッチパネルの上・中央・下部3箇所を手のひらで覆うようにロングタッチ(約2秒)することで、機能を以下のように切り換えることができます。



- ・ OFFの次はノイズリダクションONに戻ります。
- ・ 工場出荷時はノイズリダクションがデフォルト設定されています。
- ・ アンビエンスコントロールの使用時は、以下のようにファンクションインジケーターが点灯します。

緑点灯：ノイズリダクションON／ヒアスルーON

消灯：ノイズリダクション・ヒアスルーともにOFF



ノイズリダクション

本製品に内蔵されたマイクロホンが周囲の騒音を検知し、キャンセリング信号を出して騒音を効果的に低減します。

- ・ 本製品の電源をONにすると、自動的にノイズリダクションがONになります。
- ・ ノイズリダクションのON／OFFで音量差があります。

ヒアスルー

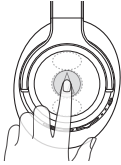
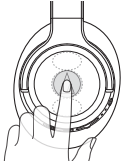
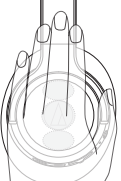
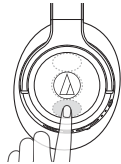
内蔵されているマイクロホンにより、本製品を装着して音楽などを聴きながら周囲の音が確認できる機能です。

- ・ 再生している音楽などの音量によっては、周囲の音が聞こえづらい場合があります。その場合は、音楽などの音量を小さくしてください。
- ・ 本機能を使用しても、周囲の状況などによって、周囲の音が聞き取りにくい場合があります。交通量の多い場所など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では、本製品を使用しないでください。

使いかた

通話する

- ・ Bluetooth 機器に電話機能が搭載されている場合、本製品の内蔵マイクロホンを使用して通話ができます。
- ・ Bluetooth 機器が着信すると、本製品から着信音が鳴ります。
- ・ 音楽再生中に着信があった場合は、音楽が一時停止します。通話が終了すると、音楽再生が再開します。＊¹

状況	操作		動作
着信時		タッチ	電話を受けます。
		ロングタッチ (約2秒)	着信を拒否します。
通話中		ロングタッチ (約2秒)	通話を終了します。
		上・中央・下部3箇所を ロングタッチ (約2秒)	ロングタッチ (約2秒) するたびに、Bluetooth接続している携帯電話での通話⇄本製品での通話に切り換わります。＊ ²
		タッチ	通話音量を1段階大きくします。
			通話音量を1段階小さくします。

＊¹ 接続しているBluetooth機器によっては音楽再生が再開しない場合があります。

＊² 確認音が鳴ったらタッチパネルから指を離してください。

・ 一部のスマートフォンでは、上記通話時の操作ができない場合があります。

使いかた

クイックヒアスルー機能

人の声にフォーカスして外部音を取り込める機能です。再生中の音楽などの音量は自動的に下がります。

公共交通機関のアナウンスや、人の話し声を確認したいときに便利です。

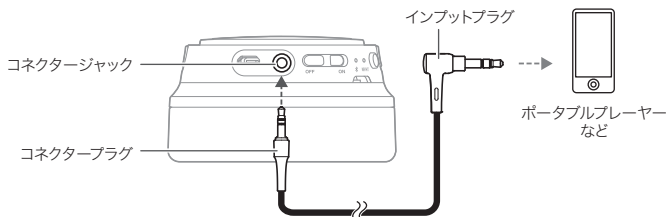
1. サブスイッチボタンを押します。
 - ・ クイックヒアスルー機能がONのときは、ファンクションインジケーターが緑色に点滅します。
2. クイックヒアスルー機能をOFFにするときは、再度サブスイッチボタンを押します。
 - ・ タッチパネルの上・中央・下部3箇所を手のひらで覆うようにロングタッチ（約2秒）することで、クイックヒアスルー機能をOFFにすることもできます。



- ・ クイックヒアスルー機能がONのときは、本体のタッチパネルの操作はクイックヒアスルー機能をOFFにする操作のみできます。

有線接続（スルー機能）

本製品は、充電がなくなった場合でも、ポータブルヘッドホンとして音楽を再生できるスルー機能を搭載しています。付属のコードのコネクタープラグを本製品のコネクタージャックに接続し、インプットプラグをポータブルプレーヤーなどと接続して使用することができます。



- ・ 有線接続時でもバッテリー残量が残っている場合、電源をONにすることでアンビエンスコントロールを使用することができます。その際、本体のタッチパネルの操作はアンビエンスコントロールの切り換えのみできます。

使いかた

オートパワーオフ機能

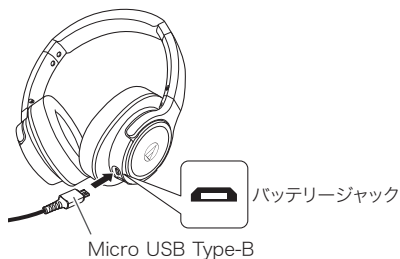
本製品は、電源がONの状態では機器と接続しない状態が5分間続くと、自動的にOFFになります。

- ・有線接続時に、電源をONにしている場合はOFFになりません。

リセット機能

本製品が動作しないなど、不具合が生じた場合は、「充電のしかた」(p.6)を参考に通電している状態の充電用USBケーブルを差し込んでリセットしてください。

充電用USBケーブルの抜き差しすることで症状が改善します。改善しない場合は、お手数ですが当社サービスセンターまでお問い合わせください。リセットしても、ペアリング設定や音量などは初期化されません。



スマートフォン用アプリ

当社のスマートフォン用アプリをご利用いただくと、本製品をより便利にお使いいただけます。



CONNECT App
iOS, Android



<https://app.at-globalsupport.com>



マルチインジケータ表示について

本製品のマルチインジケータの点滅・点灯表示により、下記の動作状態を意味しています。

動作状態		マルチインジケータ表示パターン ● 赤色 ○ 白色	
ペアリング	機器検索中	○○○○○○○○○○○○○○○○○○…	早い点滅
接続	接続待ち	○○-----○○-----○○---	4秒間隔で点滅
	接続中	○-----○-----○-----○-----…	3秒間隔で点滅 (○:じんわりと光る)
電池残量	電池残量 少ない	ペアリング・接続状態の白表示が赤表示に変わります。	
充電	充電中	…	点灯
	満充電	-----…	消灯

音声ガイダンスについて

本製品は以下の状況で英語の音声ガイダンスが流れます。

状況	音声ガイダンス
電源ON	Power on
電源OFF	Power off
Bluetooth接続	Bluetooth connected
Bluetooth接続切断	Bluetooth disconnected
電池残量が少ない	Low battery
ノイズリダクションON	Noise reduction
ヒアスルーON	Hear-through
アンビエンスコントロールOFF	Off

お手入れについて

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- ・ 本体は乾いた布で汚れを拭いてください。
- ・ コードが汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、コードが劣化して固くなり、故障の原因になります。
- ・ プラグが汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。プラグが汚れたまま使用すると、音とびや雑音が入る場合があります。
- ・ イヤパッド、ヘッドバンドの汚れは乾いた布で拭いてください。イヤパッド、ヘッドバンドに汗または水が付着すると色落ちする場合があります。その際は乾いた布で拭き取り、陰干しすることをおすすめします。

- ・ 長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。
- ・ イヤパッドは消耗品です。保存や使用により劣化しますので、お早めに交換してください。イヤパッドの交換や、そのほか修理については当社サービスセンターへお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

問題	解決方法
電源が入らない	・ 本製品を充電してください。
ペアリングができない	・ 当社ホームページで、Bluetooth対応携帯電話の適合機種をご確認ください。 ・ Bluetooth 機器の通信方式がVer.2.1+EDR 以上であることをご確認ください。 ・ 本製品とBluetooth 機器の距離を1m以内に近づけてください。 ・ Bluetooth 機器のプロファイルを設定してください。設定方法は、Bluetooth 機器の取扱説明書をお読みください。 ・ Bluetooth 機器の本製品とのペアリング情報を削除してから、再度本製品とペアリングしてください。 ・ 本製品のタッチパネルの上・中央部2箇所をロングタッチ(約10秒)してください(p.7)。本製品がペアリングの「機器検索中」状態に切り換わるので、接続したいBluetooth 機器とペアリングしてください。
音が出ない／音が小さい	・ 本製品とBluetooth 機器の電源を入れてください。 ・ 本製品とBluetooth 機器の音量を大きくしてください。 ・ HFP / HSP 接続の場合は、A2DP 接続に切り換えてください。 ・ 本製品とBluetooth 機器の間に人、金属、壁などの障害物を無くし、距離を近づけてください。 ・ Bluetooth 機器の音声出力先を本製品に切り換えてください。
音が割れる／ノイズが出る／音が途切れる	・ 本製品とBluetooth 機器の音量を小さくしてください。 ・ 本製品から電子レンジ、無線LANなど電波を発する機器を離してください。 ・ 本製品からテレビ、ラジオやチューナー内蔵機器を離してください。これらの機器に影響を与える場合があります。 ・ Bluetooth 機器のイコライザー設定をオフにしてください。 ・ 本製品とBluetooth 機器の間に障害物を無くし、距離を近づけてください。詳しくは「Bluetooth通信をより快適にお楽しみいただくために」(p.4)を参照してください。 ・ Bluetooth 機器の設定でaptXコーデックをオフにして接続してください。
相手の声が聞こえない／相手の声が小さい	・ 本製品とBluetooth 機器の電源を入れてください。 ・ 本製品とBluetooth 機器の音量を大きくしてください。 ・ A2DP 接続の場合は、HFP / HSP 接続に切り換えてください。 ・ Bluetooth 機器の音声出力先を本製品に切り換えてください。
本製品の充電ができない	・ 付属の充電用USBケーブルを確実に接続して充電してください。
音が遅れる(映像と音声がずれる)	・ 「SBC優先接続について(著しく音が遅れる場合の対応)」(p.18)を参照し、接続コーデックをSBCに変更してください。
ノイズリダクション効果やヒアスルー効果が感じられない	・ ファンクションインジケータが緑色に点灯していることを確認してください。 ・ 本製品を再度装着してください。本製品と耳の位置が合っていない可能性があります。 ・ 周囲の騒音がリダクション周波数に合わない場合があります。
・ Bluetooth機器の操作に関しては、機器により操作が異なるため、お持ちのBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。 ・ 不具合が解消されない場合は、本製品をリセットしてください。リセットは「使いかた」の「リセット機能」(p.14)を参照してください。	

故障かな?と思ったら

SBC 優先接続について(著しく音が遅れる場合の対応)

接続コーデックが AAC のとき、Bluetooth 機器が標準で搭載する SBC に変更することで、著しい音の遅れが緩和される場合があります。^{*1}

接続のしかた

本製品と Bluetooth 機器がペアリング状態でいきます。

1. 本製品の電源を ON にします。
2. 音楽が一時停止の状態では図のようにタッチパネルの上・下部2箇所をロングタッチ(約10秒)します。
 - ・ マルチインジケーターが一度ピンク色に点灯したあと、電源が OFF になります。再度電源が ON になり、Bluetooth 機器に自動で接続されます。^{*2}
 - ・ 設定完了後、接続コーデック SBC のみになります。他のコーデックでは接続されません。
 - ・ マルチインジケーターの点滅・点灯表示については「マルチインジケーター表示について」(p.15)を参照してください。^{*3}



^{*1} ご使用の環境によっては、SBC優先接続に変更しても音の遅れが緩和できない場合があります。

^{*2} 自動で接続されない場合は、「ペアリングのしかた」(p.7)を参照して、再度ペアリングを行ってください。

^{*3} 電源を OFF にして再度電源を ON にすると、通常の接続に戻り、他のコーデックでの接続が有効になります。SBC優先接続が必要な場合は、その都度SBC優先接続の操作を行ってください。

テクニカルデータ

ヘッドホン部

型式	密閉ダイナミック型
ドライバー	φ45mm
出力音圧レベル	100dB/mW
再生周波数帯域	5～40,000 Hz
インピーダンス	47Ω (ユニットインピーダンス)

マイクロホン部

型式	エレクトレットコンデンサー型
指向性	全指向性
感度	-44dB(1V/Pa, at 1kHz)
周波数帯域	50～4,000Hz

通信仕様

通信方式	Bluetooth標準規格Ver.5.0準拠
RF出力	4.14mW EIRP
最大通信距離	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯域	2.4GHz帯(2.402GHz～2.480GHz)
変調方式	FHSS
対応Bluetoothプロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
対応コーデック	Qualcomm® aptX™ audio、AAC、SBC
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
伝送帯域	20～20,000 Hz

テクニカルデータ

その他

電源	DC3.8V リチウムポリマー電池 (内蔵式)
充電時間	約5.5時間*
使用可能時間	連続通信 (音楽再生時): 最大約28時間 (Bluetooth、ノイズリダクション使用時)* 最大33時間 (Bluetoothのみ使用時)*
質量	約262g
使用温度範囲	5°C～40°C
付属品	・ 充電用USBケーブル (30cm、USB Type-A / Micro USB Type-B) ・ コード (1.2m / φ3.5mm金メッキステレオミニプラグ/L型) ・ ポーチ
交換品 (別売)	・ イヤパッド HP-SR50BT (BK/BW) ・ コード
USB対応ACアダプター (別売)	・ AD-SU505JEA

* 使用条件により異なります。

改良などのため予告なく変更することがあります。

- ・ Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、株式会社オーディオテクニカは、ライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- ・ “AAC”ロゴはドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・ Qualcomm aptXはQualcomm Technologies International, Ltd.の製品です。
Qualcommは、米国およびその他の国で登録されているQualcomm Incorporatedの商標であり、許可を得て使用しています。
aptXは米国およびその他の国で登録されているQualcomm Technologies International, Ltd.の商標であり、許可を得て使用しています。
- ・ AppleおよびAppleロゴは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- ・ Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

適合機種について

Bluetooth 対応携帯電話の適合リストについては、当社ホームページまたはお客様相談窓口でご案内しています。

PC サイト
(お客様相談窓口)

www.audio-technica.co.jp/atj/support/

モバイルサイト

www.audio-technica.co.jp/i/

本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できます。
販売国以外では使用できません。

お問い合わせ

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付／平日9:00～17:30)

製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

- ・ **お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた)** ☎ 0120-773-417
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp
- ・ **サービスセンター(修理・部品)** ☎ 0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp
- ・ **ホームページ(サポート)** www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1

www.audio-technica.co.jp

©2018 Audio-Technica Corporation

ver.1 2018.11.01

138901080-01-02 ver.2 2018.12.01